

岩手県立病院等の経営計画の取組状況について

(平成26年度の取組実績)

I 経営計画（岩手県立病院等の経営計画 2014-2018）の概要

1 計画策定の趣旨

医師不足等の限られた医療資源の中で、県民に良質な医療を持続的に提供するためには、県立病院間はもとより、他の医療機関との役割分担と連携をより一層進める必要があり、また、安定した経営基盤の確立が求められていることから、これらの実現に向けた方策を明らかにするため本計画を策定しました。

2 計画の位置付け

「岩手県立病院等の新しい経営計画」に続く、新たな経営計画として、平成 25 年 12 月に「岩手県立病院等の経営計画 2014-2018」を策定しました。

この計画は、平成 19 年 12 月に総務省が策定した「公立病院改革ガイドライン」に定める「公立病院改革プラン」に位置付けているものであり、また、県が平成 25 年度から 5 年間の医療政策の方向性を定めた「岩手県保健医療計画 2013-2017」を踏まえた計画となっています。

3 基本理念及び基本方針

県立病院の創業の精神である「県下にあまねく良質な医療の均てんを」という基本理念のもと、次の 4 つの基本方針を掲げ、県立病院の運営に努めることとしています。

- ◇ 心のかよう、患者中心の医療の展開 〈患者本位〉
- ◇ 職員が働きがいを持つ職場づくり 〈職員重視〉
- ◇ 健全経営に向けた経営の効率化 〈不断の改革改善〉
- ◇ 地域と一体となった医療の確保 〈地域との協働〉

4 計画の基本方向

計画の実行にあたって、次の 5 つの基本方向ごとに実施計画を定めています。

- 1 県立病院間・他の医療機関を含めた役割分担と地域連携の推進
- 2 良質な医療を提供できる環境の整備
- 3 医師不足解消と医師の負担軽減に向けた取組の推進
- 4 職員の資質向上と人員の重点配置
- 5 安定した経営基盤の確立

5 計画の期間

平成 26 年度から平成 30 年度までの 5 年間の計画期間とします。

なお、医療政策に係る国の動向に注視しながら、診療報酬改定や患者動向など、県立病院を取り巻く環境の変化に的確に対応していくため、随時見直しを行います。

6 計画の進行管理

計画を進めるにあたっては、年度ごとの事業運営方針・重点取組事項を定めるとともに、取組状況について自己評価を行います。

評価結果は、外部委員会の意見等を踏まえてとりまとめ、医療局のホームページなどで公表します。

Ⅱ 平成 26 年度県立病院等事業の概況

1 取組実績

経営計画に掲げる 5 つの基本方向ごとに、実施計画を定め取組を推進しました。

平成 26 年度の実績は、別紙「平成 26 年度重点的取組事項の実績について」(p5～p12) のとおりです。

2 決算等の概況

(1) 決算の概況

平成 26 年度の県立病院等事業会計決算は、総収益 1,002 億 4 千 5 百万円余に対し、総費用 1,276 億 1 千 1 百万円余で、差引 273 億 6 千 6 百万円余の純損失となりました。

これは、地方公営企業会計基準の見直しに伴い、平成 26 年度において退職給付引当金等の引当金や旧病院等の減損損失等を特別損失として計上したこと等によるものです。

このことにより、累積欠損金は、平成 25 年度末 164 億 4 百万円余から 437 億 7 千万円余となりました。

収益面では、入院・外来ともに患者数が減少しましたが、患者一人一日あたり収益の伸びにより医業収益は増加したものの、一般会計繰入金等の医業外収益の減少により、平成 25 年度に比較し 6 億 5 千 3 百万円余の減少となっています。

費用面では、給与費、材料費等の増加及び地方公営企業会計基準の見直しに伴う引当金等の計上により、平成 25 年度に比較して 294 億 8 千 8 百万円余の増加となっています。

なお、地方公営企業会計基準の見直しに伴う退職給付引当金等の特別損失や特別利益を除いた経常損益では、11 億 6 千 8 百万円余の黒字を計上し、5 年連続で黒字を維持することができました。

(2) 収支計画等との比較

経営計画における病床数や患者数の目標、収支計画に対する実績との比較は次表のとおりです。

ア 患者数

入院患者数は、130 万 6 千人余で、収支計画比 2 万 3 千人余の減 (1.8%減) となりました。また、外来患者数は、202 万 6 千人余で、収支計画比 2 万 2 千人余の増 (1.1%増) となりました。

イ 収益

入院収益は、558 億 6 千 7 百万円余となり、収支計画比 11 億 3 千 5 百万円減 (2.0%減) となりました。

外来収益は、254 億 9 千万円余となり、収支計画比 16 億 3 百万円増 (6.7%増) となりました。

収益の合計は、1,002 億 4 千 5 百万円余となり、収支計画比 3 億 4 千万円増 (0.3%増) となりました。

ウ 費用

費用は、1,276 億 1 千 1 百万円余となり、収支計画比 22 億 9 千 1 百万円増 (1.8%増) となりました。

エ 損益

損益は、273 億 6 千 6 百万円余の赤字となり、赤字額は収支計画比 19 億 5 千 1 百万円増 (7.7%増) となりました。

◇平成 26 年度実績（決算）と収支計画との比較

（単位：人、百万円）

	25 年度 実績 (A)	26 年度		対 25 年度実績比較		対収支計画比較		
		収支計画 (B)	実績 (C)	増減 (C-A)	率(%) ((C-A)/A)	増減 (C-B)	率(%) ((C-B)/B)	
稼働病床数〔床〕※	4,644	4,792	4,676	32	0.7	△116	△2.4	
患者数	入院患者延数	1,324,662	1,330,188	1,306,736	△17,926	△1.4	△23,452	△1.8
	外来患者延数	2,044,098	2,003,946	2,026,398	△17,700	△0.9	22,452	1.1
収益	入院収益	56,295	57,002	55,867	△428	△0.8	△1,135	△2.0
	外来収益	24,792	23,887	25,491	699	2.8	1,604	6.7
	その他医業収益	6,009	6,130	5,918	△91	△1.5	△212	△3.5
	医業外収益	13,665	12,886	12,858	△807	△5.9	△28	△0.2
	特別利益	139	—	112	△27	△19.4	112	—
	収益計 (a)	100,898	99,905	100,246	△652	△0.6	341	0.3
	うち一般会計負担金	15,004	14,518	14,302	△702	△4.7	△216	△1.5
費用	給与費	51,598	52,931	52,901	1,303	2.5	△30	△0.1
	材料費	22,014	22,744	22,391	377	1.7	△353	△1.6
	うち薬品費	13,527	13,843	13,705	178	1.3	△138	△1.0
	うち診療材料費	7,603	7,879	7,796	193	2.5	△83	△1.1
	その他医療費用	16,951	17,886	16,937	△14	△0.1	△949	△5.3
	医業外費用	7,223	3,910	6,736	△487	△6.7	2,826	72.3
	特別損失	336	27,849	28,647	28,311	8,425.6	798	2.9
	費用計 (b)	98,123	125,320	127,612	29,489	30.1	2,292	1.8
損 益 (a-b)	2,775	△25,415	△27,366	△30,141	△1,086.2	△1,951	7.7	
年度末累積欠損金	△16,404	△43,134	△43,770	△27,366	—	△636	—	

※1 稼働病床数は一般、療養、精神の稼働病床数である。

※2 金額を百万円単位としているため、決算公表資料の数値を一致しないことがある。

Ⅲ 数値目標の評価

経営計画では、「経営状況の検証に用いる経営指標及び数値目標」並びに「県立病院として担うべき医療機能の確保に係る指標及び数値目標」を設定しており、平成26年度の実績は次のとおりとなっています。

1 経営状況の検証に用いる経営指標及び数値目標

項目	単位	H25	H26		評価等	
		実績	計画	実績		
経常収支比率	%	103.0	102.5	101.2	企業債利息の減少等により、医業外費用が減少したものの、一般会計繰入金等の医業外収益も減少したことから、目標達成に至らなかった。	
医業収支比率	%	96.2	93.0	94.6	給料の減額支給措置の終了や職員の増加等による給与費、抗がん剤等の薬品費増加等に伴う材料費の増加等により医業費用が増加したものの、入院・外来ともに患者一人一日あたり収益が増加したこと等により、医業収益も増加したことから目標を達成した。	
職員給与費対医業収益比率	%	59.2	60.8	60.7	給料の減額支給措置の終了や職員の増加等により給与費が増加したが、医業収益も増加したことから目標を達成した。	
材料費対医業収益比率	%	25.3	26.1	25.6	抗がん剤等の薬品費増加等に伴い材料費が増加したが、医業収益も増加したことから目標を達成した。	
病床利用率	センター病院及び基幹病院（内陸内部）	%	82.3	85.0	82.9	在院日数の短縮、新患者数の減少等により、目標達成に至らなかった。
	基幹病院（県北・沿岸部）	%	72.1	78.0	70.8	
	地域病院	%	68.7	75.0	65.2	
	精神科病院	%	69.4	78.0	78.0	

2 県立病院として担うべき医療機能の確保に係る指標及び数値目標

項目	単位	H25	H26		評価等
		実績	計画	実績	
紹介率（中央病院及び基幹病院）	%	51.1	49.0	51.4	各病院において紹介・逆紹介の取組を進めた結果、紹介率・逆紹介率ともに増加し目標を達成した。
逆紹介率（中央病院及び基幹病院）	%	37.5	38.0	57.4	
初期研修医1年次受入数	人	57	67	56	地域枠養成数増に伴う受入増を見込んだものの、県立病院へのマッチング数が伸びなかったことにより、目標達成に至らなかった。

《参考》経営指標の解説

経常収支比率	=	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}}$	経常収益（医業収益+医業外費用）に対し経常費用（医業収益+医業外費用）があったかを示す。比率は100を超える（黒字）ことが望ましい。
医業収支比率	=	$\frac{\text{医業収益}}{\text{医業費用}}$	比率は100を超えることが望ましいが、自治体病院は不採算を担っていることから低位にならざるを得ないという見方もある。
職員給与費対医業収益比率	=	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{医業収益}}$	医療活動に伴う収益（医業収益）に対し職員給与費が占める割合。
材料費対医業収益比率	=	$\frac{\text{材料費}}{\text{医業収益}}$	医療活動に伴う収益（医業収益）に対し、薬品費や診療材料費が占める割合。

平成26年度重点的取組事項の取組実績について

1 県立病院間・他の医療機関を含めた役割分担と地域連携の推進

重点取組項目	主な取組内容 (H26年度)												
(1) 県立病院群の一体的・効率的な運営													
1・(1)・① 一体的な運営に向けた取組の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○幹部懇談会の開催(業務支援課) <ul style="list-style-type: none"> ・病院の経営改善及び一体的運営の推進について意見交換(10病院) ○基幹病院への医師の重点的配置と地域病院への支援調整(医師支援推進室) <ul style="list-style-type: none"> ・要請に基づく病院間調整(中央⇒千厩、磐井、釜石、二戸) ・広域人事異動システムによる支援調整方法の見直し及び被災三病院の宿日直体制確保の検討 												
1・(1)・② 圏域を越えた連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ○沿岸病院支援体制の構築(業務支援課) <ul style="list-style-type: none"> ・沿岸病院(山田・大槌・釜石)への視能訓練業務応援(4月～) ○1人職場の解消(業務支援課) <ul style="list-style-type: none"> ・千厩病院の臨床工学技士を磐井病院へ集約し、常時1名を千厩病院へ兼務発令(4/1～) 												
1・(1)・③ 基幹病院・本庁に集約した業務の運用方法の改善	<ul style="list-style-type: none"> ○事務事業の見直し検討(経営管理課) <ul style="list-style-type: none"> ・本庁部会(6回開催)及び検討委員会(4回開催)において、「給与・諸手当業務マニュアル」の作成検討 ○給与事務の改善(職員課) <ul style="list-style-type: none"> ・給与事務担当者研修会(5/26) ・単身赴任手当の一斉確認を6月に試行 ・給与事務集約に係る病院担当者との意見交換会(10/24) 												
(2) 地域の状況や各病院の特色等に基づいた各病院が担うべき役割と機能													
1・(2)・① 病床規模の適正化	<ul style="list-style-type: none"> ○入院患者数の動向等に対応した病床適正化の推進(医事企画課) <ul style="list-style-type: none"> ・病院との情報交換(6/11～23、11/25～28) 												
1・(2)・② 病院ごとの役割・機能の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ○病床機能報告制度への対応(経営管理課) <ul style="list-style-type: none"> ・病床機能報告に係る各病院へ周知及び報告内容についての情報収集・取りまとめ 												
(3) 他の医療機関・介護施設等との役割分担と連携													
1・(3)・① 介護・福祉との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ○地域医療福祉連携体制の構築(職員課) <ul style="list-style-type: none"> ・基幹病院の退院調整に携わる看護師の配置(各1人、計9人)による体制強化(4月～) ・医療社会事業士の増員による体制強化(4月～宮古、胆沢、磐井、30→33人) 												
1・(3)・② 民間移管の円滑な実施	<ul style="list-style-type: none"> ○沼宮内地域診療センター(経営管理課) <ul style="list-style-type: none"> ・医療法人との協議状況等について岩手町との情報交換(4/23 9/22、2/17) 												
1・(3)・③ 病院等施設の空きスペースの活用	<ul style="list-style-type: none"> ○併設特別養護老人ホーム等経営状況ヒアリング(経営管理課) <ul style="list-style-type: none"> ・4月:一戸、九戸、花泉、大迫 ○運営協議会(二戸、両磐、中部)での情報交換(11月、12月)(経営管理課) 												
(4) 地域との協働による病院運営													
1・(4)・① 広報活動等による県民理解の醸成	<ul style="list-style-type: none"> ○市町村の広報事業等を通じた情報提供(随時)(経営管理課) ○人事異動に伴う職員情報の更新(4月中旬)(職員課) ○各就職説明会やイベントの情報掲載(随時) <ul style="list-style-type: none"> ・医療局主催就職説明会実施情報(4/1)、各種看護職員養成校及び就職支援業者主催就職説明会情報の掲載(随時) ・県立病院ホームページのリンク作成(9月) ○採用試験の受験案内掲載(随時) <ul style="list-style-type: none"> ・採用試験(特別募集・通常募集)の受験案内掲載(4/月、5月)、(特別募集9月) ・採用内定者へのメルマガ配信の開始(12/8) <table border="1" data-bbox="416 1720 1289 1883"> <thead> <tr> <th>数値目標</th> <th>目標</th> <th>H26実績</th> <th>H26達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大きな病院と診療所の役割分担認知度</td> <td>54%</td> <td>56.8%</td> <td>達成</td> </tr> <tr> <td>救急患者総数のうち当日帰宅措置患者の割合</td> <td>77.8%</td> <td>77.5%</td> <td>達成</td> </tr> </tbody> </table>	数値目標	目標	H26実績	H26達成状況	大きな病院と診療所の役割分担認知度	54%	56.8%	達成	救急患者総数のうち当日帰宅措置患者の割合	77.8%	77.5%	達成
数値目標	目標	H26実績	H26達成状況										
大きな病院と診療所の役割分担認知度	54%	56.8%	達成										
救急患者総数のうち当日帰宅措置患者の割合	77.8%	77.5%	達成										
1・(4)・② 運営協議会等の開催	<ul style="list-style-type: none"> ○県立病院運営協議会(経営管理課) <ul style="list-style-type: none"> ・9圏域で開催(11月～2月) 												
1・(4)・③ ボランティアとの協働	<ul style="list-style-type: none"> ○病院ボランティア(経営管理課) <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度院内ボランティア受入状況調査の実施(8月) ・地域診療センターを含む26病院等のうち18病院等で受入れ(69%) ・ボランティア団体の組織化は18病院のうち12病院で組織化(67%) 												

2 良質な医療を提供できる環境の整備

重点取組項目	主な取組内容 (H26 年度)										
(1) 患者中心の安全・安心な医療の提供											
2-(1)-①-ア 医療の質の確保 《病院機能評価受審査の推進》	○病院機能評価(経営管理課) ・受審予定病院の動向確認(6月、12月) 大船渡:準備期間確保のため更新時期延期(H27年度) 宮古:訪問審査受診(1/28-29) 久慈:訪問審査受診(11/11-12)										
	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>数値目標</th> <th>目標</th> <th>H26実績</th> <th>H26達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院機能評価認定病院数</td> <td>17病院</td> <td>17病院</td> <td>達成</td> </tr> </tbody> </table>	数値目標	目標	H26実績	H26達成状況	病院機能評価認定病院数	17病院	17病院	達成		
数値目標	目標	H26実績	H26達成状況								
病院機能評価認定病院数	17病院	17病院	達成								
2-(1)-①-イ 医療の質の確保 《クリニカルパス作成の推進》	○クリニカルパス作成の推進(業務支援課) ・クリニカルパス推進委員会(7月、11月開催)、クリニカルパス研修会開催(1月開催) ・第1四半期(4~6月)適用率 57.6% ・第2四半期(7~9月)適用率 58.9% ・第3四半期(10~12月)適用率 57.9% ・第4四半期(1~3月)適用率 58.9%										
	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>数値目標</th> <th>目標</th> <th>H26実績</th> <th>H26達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クリニカルパス適用率</td> <td>57%以上</td> <td>58.9%</td> <td>達成</td> </tr> </tbody> </table>	数値目標	目標	H26実績	H26達成状況	クリニカルパス適用率	57%以上	58.9%	達成		
数値目標	目標	H26実績	H26達成状況								
クリニカルパス適用率	57%以上	58.9%	達成								
2-(1)-①-ウ 医療の質の確保 《リハビリテーション提供体制の強化》	○365日体制の段階的な導入に向けた支援(業務検討委員会)(業務支援課) ・365日リハ実施病院(中央、中部、千厩、久慈) ・土・祝日リハ導入病院(胆沢、遠野、二戸) ・土リハ導入病院(大船渡、宮古、磐井、高田) ・4連休以上の休日対応(釜石)										
2-(1)-①-エ 医療の質の確保 《病棟薬剤業務の計画的な導入》	○病棟薬剤業務の拡大(業務支援課) ・基幹病院を中心とした実施病院の拡大 薬剤師の採用欠員により実施は7病院(中央、大船渡、釜石、宮古、中部、東和、千厩)にとどまる。なお、千厩病院は8月から、宮古病院は11月から算定開始										
	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>数値目標</th> <th>目標</th> <th>H26実績</th> <th>H26達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病棟薬剤業務実施病院数</td> <td>9病院 新規実施(2病院)</td> <td>7病院 新規実施(0病院)</td> <td>未達成</td> </tr> </tbody> </table> <p>未達成理由:薬剤師の採用欠員による。</p>	数値目標	目標	H26実績	H26達成状況	病棟薬剤業務実施病院数	9病院 新規実施(2病院)	7病院 新規実施(0病院)	未達成		
数値目標	目標	H26実績	H26達成状況								
病棟薬剤業務実施病院数	9病院 新規実施(2病院)	7病院 新規実施(0病院)	未達成								
2-(1)-①-オ 医療の質の確保 《診療記録管理体制の強化》	○診療情報管理業務の整理(医事企画課) ・業務検討委員会(4回開催)において診療情報管理業務の委託項目・業務の推進及び業務の質の向上などについて課題抽出し上位基準の取得を促した。										
	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>数値目標</th> <th>目標</th> <th>H26実績</th> <th>H26達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>診療録体制加算病院の上位基準の取得</td> <td>2病院</td> <td>2病院 (磐井・中部)</td> <td>達成</td> </tr> </tbody> </table>	数値目標	目標	H26実績	H26達成状況	診療録体制加算病院の上位基準の取得	2病院	2病院 (磐井・中部)	達成		
数値目標	目標	H26実績	H26達成状況								
診療録体制加算病院の上位基準の取得	2病院	2病院 (磐井・中部)	達成								
2-(1)-②-ア 医療安全対策・感染対策の推進 《医療安全対策の推進》	○医療安全対策の推進(業務支援課) ・医療安全管理専門委員会(月1回開催) ・医療安全管理専門員によるインシデント分析(東和、江刺) ・医療安全管理専門委員会におけるインシデント事例の情報共有 ・無断離院対応ガイドライン、院内暴力対応ガイドラインの周知(12/1)										
2-(1)-②-イ 医療安全対策・感染対策の推進 《医療メディエーターの活用促進》	○医療メディエーターの活用推進(業務支援課) ・フォローアップ研修会(1月、2月)										
2-(1)-②-ウ 医療安全対策・感染対策の推進 《安全な医療を提供する体制の強化》	○医療安全及び医療の質向上のための臨床工学技士の増員 ・臨床工学技士定数増(中央2人、胆沢1人、久慈1人、中部2人) ※圏域応援体制整備のため千厩病院の職員を磐井病院へ配置。常時1人と千厩病院へ兼務発令 ○医療機器の安全確保と有効性の維持(業務検討委員会)(業務支援課) ・業務検討委員会(5回) ・輸液ポンプ・シリンジポンプの機器統一検討(業務検討委員会で検討し医療安全専門委員会(9/22)プレゼン実施) ・業務指導の実施(随時)										

重点取組項目	主な取組内容 (H26 年度)																				
2-(1)-②-エ 医療安全対策・感染対策の推進 《感染対策の推進》	<ul style="list-style-type: none"> ○各病院における院内感染防止対策の推進(業務支援課) <ul style="list-style-type: none"> ・感染委員会の開催(7月、9月、11月) ・感染ガイドライン(8月各病院周知) 																				
2-(1)-③ 患者満足度の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○患者満足度調査の実施(6/16～6/27、本庁報告7/23)(医事企画課) <ul style="list-style-type: none"> ・調査結果公表(10/1) ○患者満足度の向上に関する取組みの推進のため、各病院の取り組みを調査し取りまとめ、情報提供(1月)(医事企画課) ○研修の実施による接遇の向上(職員課) <ul style="list-style-type: none"> ・新採用職員研修(前期)(5月～6月) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>数値目標</th> <th>項目</th> <th>目標</th> <th>H26実績</th> <th>H26達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">基本的な接し方</td> <td>不満・やや不満の割合</td> <td>5.7%以下</td> <td>6.1%</td> <td rowspan="4">一部達成</td> </tr> <tr> <td>満足・やや満足の割合</td> <td>55%以上</td> <td>55.0%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">インフォームド・コンセント</td> <td>不満・やや不満の割合</td> <td>6.1%以下</td> <td>6.4%</td> </tr> <tr> <td>満足・やや満足の割合</td> <td>52%以上</td> <td>52.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>未達成理由: 外来部門の接遇及び説明に対する満足度の低下</p>	数値目標	項目	目標	H26実績	H26達成状況	基本的な接し方	不満・やや不満の割合	5.7%以下	6.1%	一部達成	満足・やや満足の割合	55%以上	55.0%	インフォームド・コンセント	不満・やや不満の割合	6.1%以下	6.4%	満足・やや満足の割合	52%以上	52.1%
数値目標	項目	目標	H26実績	H26達成状況																	
基本的な接し方	不満・やや不満の割合	5.7%以下	6.1%	一部達成																	
	満足・やや満足の割合	55%以上	55.0%																		
インフォームド・コンセント	不満・やや不満の割合	6.1%以下	6.4%																		
	満足・やや満足の割合	52%以上	52.1%																		
(2) 病院の施設・設備の整備																					
2-(2)-① 被災した県立病院の再建	<ul style="list-style-type: none"> ○大槌病院(経営管理課) <ul style="list-style-type: none"> ・工事契約締結 建築・電気(7/2、工期 H26.7.3-H27.11.24)、機械(7/28、工期 H26.7.29-H27.12.20) ○山田病院(経営管理課) <ul style="list-style-type: none"> ・工事契約締結 建築・電気・機械(3/13、工期 H27.3.16～H28.3.24) ○高田病院(経営管理課) <ul style="list-style-type: none"> ・設計業者選定に係るプロポーザルの実施(2月、3月) ・設計業者選定(3月) ○被災病院への対応(業務支援課) <ul style="list-style-type: none"> ・整備要望調査(7～8月) ・要望品目現地精査、移送品目確認(10月) 																				
2-(2)-② 病院附帯設備の計画的な改修	<ul style="list-style-type: none"> ○大規模改修計画(案)の策定(経営管理課) <ul style="list-style-type: none"> ・現地調査及び病院ヒアリング実施:5月(軽米、遠野)、6月(千厩) ・改修計画案策定に向けた2者(本庁・設計事務所)打合せ:6月(軽米、紫波、九戸) ・大規模改修計画(病院別年次計画)案に係る医療局長協議(9/26・9/29) ・病院別年次計画案に基づくH27年度当初予算要求(11月) ・大船渡病院大規模改修工期中の人員配置計画等病院ヒアリング実施(12月、1月) ○建物一般整備(経営管理課) <ul style="list-style-type: none"> ・H27年度病院要望調査(6月)、病院要望現況調査(9月)、H27年度建物整備計画策定(12月、3月) 																				
2-(2)-③ 高度医療機器の効率的な整備	<ul style="list-style-type: none"> ○医療用設備整備調査委員会の開催(6月)(業務支援課) <ul style="list-style-type: none"> ・リニアック更新に係る設備基準の検討他 ○臨時医療用設備整備調査委員会の開催(10月)(業務支援課) <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度医療器械本庁計画の執行状況報告等 																				
(3) 医療情報システムの整備																					
2-(3)-① 電子カルテシステムの計画的導入	<ul style="list-style-type: none"> ○釜石病院電子カルテ導入(医事企画課) <ul style="list-style-type: none"> ・2月 電子カルテ稼働 ○久慈病院電子カルテの更新(医事企画課) <ul style="list-style-type: none"> ・2月 ハード更新 ○オーダ機能の追加(下半期)(医事企画課) <ul style="list-style-type: none"> ・9月大東病院稼働(注射、栄養、放射線)、高田病院稼働(検査) ・10月遠野病院稼働(検査、放射線) ・12月山田病院稼働(注射、検査) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>数値目標</th> <th>目標</th> <th>H26実績</th> <th>H26達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電子カルテ稼働病院数</td> <td>10病院 (新規導入1病院)</td> <td>10病院 (新規1釜石病院)</td> <td>達成</td> </tr> </tbody> </table>	数値目標	目標	H26実績	H26達成状況	電子カルテ稼働病院数	10病院 (新規導入1病院)	10病院 (新規1釜石病院)	達成												
数値目標	目標	H26実績	H26達成状況																		
電子カルテ稼働病院数	10病院 (新規導入1病院)	10病院 (新規1釜石病院)	達成																		

重点取組項目	主な取組内容 (H26年度)
2-(3)・② 診療情報供給システムの導入及び診療情報データバックアップシステムの強化	<ul style="list-style-type: none"> ○岩手県医療情報連携ネットワークシステム(仮称)の整備(医事企画課) <ul style="list-style-type: none"> ・事務担当者会議(4月)及び第4回岩手県医療情報連携推進協議会設立準備会及び第1回協議会の開催(10月) 【二次医療圏内連携システム関係】 ・気仙(大船渡病院)及び久慈(久慈病院)との情報共有 ・久慈:総務省の被災地域情報化推進事業補助金の交付決定(5億8千万円)(11月) ・中部(中部病院)医療圏での連携システム導入検討開始(11月) ○県立病院のデータバックアップ及び共有項目の充実(医事企画課) <ul style="list-style-type: none"> ・放射線画像データのバックアップ仕様検討(6月) ・医療情報化推進委員会にてバックアップ項目及びシステム要件の協議(9月) ・継続診療支援システムの仕様作成及び入札事務手続き(12月)、システム構築(1月～3月)

3 医師不足の解消と医師の負担軽減に向けた取組の推進

重点取組項目	主な取組内容 (H26年度)												
(1) 医師確保に向けた取組													
3-(1)・① 医師の絶対数の確保	<ul style="list-style-type: none"> ○ 関係大学に対する継続した派遣要請(医師支援推進室) <ul style="list-style-type: none"> ・東北地方各大学医局への訪問(岩手医大 51回、東北大7回、秋田大1回、弘前大1回) ○ 医師招聘活動の実施(医師支援推進室) <ul style="list-style-type: none"> ・招聘の可能性の高い医師に対して重点的にアプローチ。面談医師数:延べ39名 ・既招聘医師に対するフォローアップ(勤務先訪問) ○ 奨学生等との面談(10月～12月)(医師支援推進室) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>数値目標</th> <th>目標</th> <th>H26実績</th> <th>H26達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・新規招聘医師数</td> <td>10人</td> <td>9人(県立病院分)</td> <td>未達成</td> </tr> <tr> <td>・年度末における医師増員数</td> <td>26人</td> <td>△9人※ (初期研修医含む)</td> <td>未達成</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-left: 20px;">未達成理由:震災支援を目的とした招聘医師の減少及び退職、大学院進学等によるレジデントの減少など</p>	数値目標	目標	H26実績	H26達成状況	・新規招聘医師数	10人	9人(県立病院分)	未達成	・年度末における医師増員数	26人	△9人※ (初期研修医含む)	未達成
数値目標	目標	H26実績	H26達成状況										
・新規招聘医師数	10人	9人(県立病院分)	未達成										
・年度末における医師増員数	26人	△9人※ (初期研修医含む)	未達成										
3-(1)・② 地域別・診療科別の偏在の緩和	<ul style="list-style-type: none"> ○基幹病院等による地域病院への支援体制の検討と調整(医師支援推進室) <ul style="list-style-type: none"> ・医師確保対策検討委員会(7月) ・病院長ヒアリングの実施(11月) ○基幹病院及び中央病院(センター病院)からの医師派遣(医師支援推進室) <ul style="list-style-type: none"> ・要請に基づく病院間調整(中央⇒千厩、磐井、釜石、二戸) 												
3-(1)・③ 初期研修医及び後期研修医の受入れ拡大	<ul style="list-style-type: none"> ○ 臨床研修に関する企画・運営(医師支援推進室) <ul style="list-style-type: none"> ・研修医対象事業、指導医対象事業、医学生対象事業、病院事務担当者対象事業 ○ 医学生合同説明会への参加(医師支援推進室) ○ 後期研修プログラム等の充実(医師支援推進室) <p style="text-align: right;">(H26年度の採用者数)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>数値目標</th> <th>目標</th> <th>H26実績</th> <th>H26達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>初期研修医1年次生受入数</td> <td>67人</td> <td>56人</td> <td>未達成</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-left: 20px;">未達成理由:地域枠養成数の増に伴う受入増を見込んだものの、県立病院へのマッチング数が伸びなかったため</p>	数値目標	目標	H26実績	H26達成状況	初期研修医1年次生受入数	67人	56人	未達成				
数値目標	目標	H26実績	H26達成状況										
初期研修医1年次生受入数	67人	56人	未達成										
(2) 魅力ある勤務環境への改善													
3-(2)・① 医師の業務負担の軽減	<ul style="list-style-type: none"> ○認定薬剤師の育成(業務支援課) <ul style="list-style-type: none"> ・育成計画及び専門・認定薬剤師養成要領に基づく養成研修(がん、緩和、感染)等への派遣職員の選考(5/22～6/13公募、6/26面接)⇒がん1名、感染1名計2名の育成者決定(H26.7/7) ○医療クラークの質的向上等(職員課) <ul style="list-style-type: none"> ・医療クラーク初任者研修会の実施(8月) ・医療クラークスキルアップ研修の実施(第1期7月、第2期8月) 												
3-(2)・② 女性医師の支援	<ul style="list-style-type: none"> ○院内保育の実施(職員課) <ul style="list-style-type: none"> ・学童保育実施(4月～) ○医師を対象とした育児短時間制度等の拡充(4月～)(職員課) <ul style="list-style-type: none"> ・対象年齢の拡充:小学校就学前⇒小学校3年生まで ・部分休業の拡充:1日当り2時間まで⇒2時間30分まで ○勤務女性医師からの意見聴取及び支援策の実施(医師支援推進室) <ul style="list-style-type: none"> ・女性医師との懇談会実施(12月:4基幹病院) ・職場復帰を希望する女性医師との面談(7月)⇒8月採用(胆沢1名) 												

重点取組項目	主な取組内容 (H26 年度)
3-(2)-③ 医師の処遇改善	<ul style="list-style-type: none"> ○医師の勤務環境及び生活環境の向上 (経営管理課) <ul style="list-style-type: none"> ・中部病院増改築工事 (工期 7/1～2/28) ・磐井病院増改築工事 (実施設計) ○定着支援策の継続検討 (医師支援推進室) <ul style="list-style-type: none"> ・第 46 回医師に関する諸問題検討委員会の開催 (8 月) ・招へい医師等の定着に向けたフォローアップ (延べ 32 名) ○勤務医との意見交換 (医師支援推進室) <ul style="list-style-type: none"> ・医師連理事と医療局幹部職員との懇談 (5 月)

4 職員の資質向上と人員の重点配置

重点取組項目	主な取組内容 (H26 年度)
--------	-----------------

(1) 人づくり

4-(1)-① 計画的な人材育成	<p>《医事》(医事企画課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 医事業務指導(6月～11月 20病院) ○ 医事経営課職員スキルアップ勉強会開催(11月) <p>《業務》(業務支援課)</p> <p>(薬事)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 認定薬剤師等の育成(がん1名、感染1名の育成者決定) ○ 業務検討委員会(4回) <p>(診療放射線)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 業務検討委員会(5回) ○ 新採用者研修実施(7月) <p>(臨床検査)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 業務検討委員会(6回) ○ 業務指導の実施(5月～7月) <p>(看護)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 認定看護師部会の開催(5月) ○ 認定看護師実務研修会(8月) <p>(栄養)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 業務検討委員会の開催(8回) ○ 業務指導資料検討部会開催(2回) <p>(視能訓練士)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○業務検討委員会開催(5回) ○業務指導の実施(6月) <p>(臨床工学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 業務検討委員会開催(7回) ○ 業務指導の実施(5～7月に9病院) <p>(医療社会事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 業務検討委員会開催(3回) <p>(リハビリテーション)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 業務検討委員会(5回) ○ 業務指導の実施(全病院)(5月～7月) <p>(臨床心理)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 業務検討委員会開催(5回) ○ 業務指導の実施(8月に3病院) ○ 新採用研修会実施(6月) <p>《事務》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 経営幹部研修会(7月)(職員課) 主事級育成プランに定める実務研修会実施(5月、7月)
---------------------	---

数値目標	目標	H26実績	H26達成状況
認定看護師数	75人	72人	未達成
専門・認定薬剤師数	31人	35人	達成

未達成理由: 認定看護師:2名試験不合格、1名養成校休学による

重点取組項目	主な取組内容 (H26年度)											
4-(1)-② 人事考課制度の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○人事考課者研修会の実施内容の見直しに向けた検討(職員課) <ul style="list-style-type: none"> ・新採用職員研修(前期)において、制度の概要を説明(理解度の向上) ・人事考課(育成面接)者研修(5月:70名受講) 											
4-(1)-③ 職員研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○平成26年度研修計画による各種研修の実施(職員課) <ul style="list-style-type: none"> ・26課程、受講対象延べ2,130名 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>数値目標</th> <th>目標</th> <th>H26実績</th> <th>H26達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>研修受講後の自己チェック (肯定回答率)</td> <td>意識変化90%以上 行動変化90%以上</td> <td>97.3% 84.1%</td> <td>一部達成</td> </tr> </tbody> </table> <p>未達成理由:行動変化の効果判定までの期間が1か月程度と短いため(H27年度は3か月後判定とした)</p>				数値目標	目標	H26実績	H26達成状況	研修受講後の自己チェック (肯定回答率)	意識変化90%以上 行動変化90%以上	97.3% 84.1%	一部達成
数値目標	目標	H26実績	H26達成状況									
研修受講後の自己チェック (肯定回答率)	意識変化90%以上 行動変化90%以上	97.3% 84.1%	一部達成									
(2) 働きやすい職場環境												
4-(2)-① 職員満足度の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○各病院の優良事例の情報提供(1月)(職員課) <ul style="list-style-type: none"> ・職員満足度向上に向けた取組促進通知の発出(6月) ・各病院等における取組事例取りまとめと周知(2~3月)(2年に1回の調査であり、H26年度は調査対象外) 											
4-(2)-② 選択可能な多様な勤務形態	<ul style="list-style-type: none"> ○正規看護職員の夜勤専従の本格導入実施(4月~)(職員課) 											
4-(2)-③ 仕事と生活の調和	<ul style="list-style-type: none"> ○産前産後休暇・育児休業等取得者に対する適正な補充(職員課) <ul style="list-style-type: none"> ・育児休業者等の適正補充(4月 事故欠補充 221人⇒226人:補充率118%) 											
4-(2)-④ 職員の健康サポート	<ul style="list-style-type: none"> ○「メンタルヘルスケア支援事業」の実施(4月~)(職員課) <ul style="list-style-type: none"> ・産業カウンセラーを活用(出張カウンセリング1回、院外(盛岡市)でのカウンセリング7回、メンタルヘルスに係る講演会講師派遣4回、組織コンサルティング5回) ○「心の病気による職員を抱える管理・監督者のための支援マニュアル」の活用及び職場復帰支援の強化(随時)(職員課) <ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルの再周知(4/23) ○禁煙支援に係る取組(職員課) <ul style="list-style-type: none"> ・禁煙支援DVDの貸出し(二戸、宮古) 											
(3) 職員の適正配置												
4-(3)-① 再建する被災病院の体制確保	<ul style="list-style-type: none"> ○大東病院の病棟再開に必要な職員体制の整備(4月)(職員課) ○大槌病院の開院に向けた職員体制の前倒し検討(~3月)(職員課) 											
4-(3)-② 地域医療福祉連携体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> ○地域医療福祉連携体制の構築(職員課) <ul style="list-style-type: none"> ・基幹病院の退院調整に携わる看護師の配置(各1人)による体制強化(4月~) ・医療社会事業士の増員による体制強化(4月~宮古、胆沢、磐井) 											
4-(3)-③ リハビリテーション等医療技術部門の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○リハビリテーション提供体制の充実(職員課) <ul style="list-style-type: none"> ・理学療法士定数増(中央2、大船渡1、釜石1、胆沢1、磐井1、久慈1、中部1、遠野1、千厩1) ・作業療法士定数増(中央2、大船渡1、胆沢1、久慈1) ・言語聴覚士定数(退職者発生のため増員なし) ・特別募集実施(言語:4月~0人 10月1人) ○病棟薬剤業務実施に向けた体制強化(職員課) <ul style="list-style-type: none"> ・医療安全及び医療の質の向上のため薬剤師の体制強化(胆沢3人、磐井3人、大東1人) ○臨床工学技士等の体制強化(職員課) <ul style="list-style-type: none"> ・臨床工学技士定数増(中央2人、胆沢1人、久慈1人、中部2人) ※圏域応援体制整備のため千厩1人減⇒磐井1人(定数外配置) 											
4-(3)-④ 看護職員の確保	<ul style="list-style-type: none"> ○看護師確保方策の検討(職員課) <ul style="list-style-type: none"> ・「看護職員確保対策検討委員会」、「看護職員確保対策検討ワーキンググループ」を設置し検討(委員会5回開催、ワーキンググループ4回開催) ・委員会検討結果報告、全病院長会議で報告(11月) ○県立病院の魅力等の情報発信(職員課) <ul style="list-style-type: none"> ・就職説明会実施(4/26) ・看護職員養成施設及び就職支援業者主催就職説明会への参加(4月~6月、1月~3月)(専門学校3か所、大学4校、養成施設10か所、就職支援業者主催8回) ・看護師・助産師募集パンフレット作成(4月) ・受験案内のため看護師養成校を訪問(県内11校、県外1校) ・学生へメールマガジン配信(計15回) ・岩手県近郊のJRの駅及び電車内中吊りにポスターを掲示(6月) ・県を通し東京都に職員募集ポスター掲示を依頼(東京都内の公共団体やハローワークなど) ・就職支援サイト(4社)のホームページへ採用試験案内掲載(6月第1週) ・アイーナへ通常募集ポスター掲示(5/30) 											

5 安定した経営基盤の確立

重点取組項目	主な取組内容 (H26 年度)																													
(1) 事業運営体制の整備																														
5-(1)-① 経営企画機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○ 医事業務指導実施(医事企画課) <ul style="list-style-type: none"> ・20 病院実地指導((6~11 月) ○ 経営委員会の開催(9 月、2 月)(経営管理課) <ul style="list-style-type: none"> ・ 前期経営計画の実績及びH25 年度決算について審議 ・ 次期経営計画の基本方向等について審議 																													
5-(1)-② 病院経営マネジメントの推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 病院経営マネジメントに関する研修の実施(職員課) <ul style="list-style-type: none"> ・ 幹部職員研修会(7 月)37 名受講 ・ 事務局長総看護師長研修会(8 月)39 名受講 																													
5-(1)-③ 病院毎の経営目標の設定と進捗管理	<ul style="list-style-type: none"> ○ 経営計画を着実に実行するための進捗管理(経営管理課) <ul style="list-style-type: none"> ・ 各病院の経営目標及び収支計画の策定(5 月) ・ 本庁と各病院による情報交換会実施(6 月) ・ 進捗管理の実施(7 月、10 月、1 月) ・ H25 年度重点取組事項について病院長会(8/22)、事務局長及び総看護師長会議(8/29)、経営委員会(9/8)に付議。 ・ H25 年度重点取組事項実績公表(10 月末) ・ 経営計画ロードマップの見直し及びH27 年度重点取組事項の作成(3 月) 																													
(2) 収支均衡に向けた取組																														
5-(2)-① 収益の確保	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域医療支援病院取得の取組(医事企画課) <ul style="list-style-type: none"> ・ 胆沢病院の地域医療支援病院承認(12 月) ○ 診療報酬改定情報の共有(医事企画課) <ul style="list-style-type: none"> ・ 医事業務指導での診療報酬改定に関する研修会実施(6 月~11 月) ・ 施設基準担当者会議の開催(7/11) ・ 医事経営課職員スキルアップ勉強会の実施(内容: 査定・適時調査対策)(11 月) ○ 診療単価増の取組(医事企画課) <ul style="list-style-type: none"> ・ 再審査請求の実施(社保、国保合わせて 18 病院で 1,215 件 3,609,255 点再請求) ・ 査定分析の情報提供(平成 26 年 10 月診療分 査定率前年度比 国保 0.03 ポイント増、医保 0.07 ポイント減) ○ 入院収益確保のためのベンチマーク分析及び情報共有(医事企画課) <ul style="list-style-type: none"> ・ 医事経営課長等会議開催(4/24~25)による情報共有 ・ DPC 担当者会議(6/27、2/13) ・ D P C ベンチマーク分析報告会の実施(10/24 胆沢、11/20 大船渡、11/28 宮古、12/17 久慈、2/10 二戸) 																													
5-(2)-① 収益の確保	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">数値目標</th> <th style="width: 15%;">目標</th> <th style="width: 15%;">H26 実績</th> <th style="width: 30%;">H26 達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ 病床利用率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ センター病院及び基幹病院(内陸南部)</td> <td>85.0%</td> <td>82.9%</td> <td rowspan="4">一部未達成</td> </tr> <tr> <td>・ 基幹病院(県北・沿岸部)</td> <td>78.0%</td> <td>70.8%</td> </tr> <tr> <td>・ 地域病院</td> <td>75.0%</td> <td>65.2%</td> </tr> <tr> <td>・ 精神科病院</td> <td>78.0%</td> <td>78.0%</td> </tr> <tr> <td>○ 紹介率(基幹病院)</td> <td>49.0%</td> <td>51.4%</td> <td>達成</td> </tr> <tr> <td>○ 逆紹介率(基幹病院)</td> <td>38.0%</td> <td>57.4%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※紹介率、逆紹介率は地域医療支援病院の計算式による 未達成理由: 在院日数の短縮等による</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 未利用資産の売却(経営管理課) <ul style="list-style-type: none"> ・ 大槌病院職員公舎跡地売却(6 月) ・ 未利用公舎用地売却公告(7 月、10 月、11 月) ・ 未利用公舎用地先着順売却移行(8 月~10 月、12 月~2 月) ・ 新規売却物件に係る地積更正登記、不動産鑑定実施(9 月~11 月) 	数値目標	目標	H26 実績	H26 達成状況	○ 病床利用率				・ センター病院及び基幹病院(内陸南部)	85.0%	82.9%	一部未達成	・ 基幹病院(県北・沿岸部)	78.0%	70.8%	・ 地域病院	75.0%	65.2%	・ 精神科病院	78.0%	78.0%	○ 紹介率(基幹病院)	49.0%	51.4%	達成	○ 逆紹介率(基幹病院)	38.0%	57.4%	
数値目標	目標	H26 実績	H26 達成状況																											
○ 病床利用率																														
・ センター病院及び基幹病院(内陸南部)	85.0%	82.9%	一部未達成																											
・ 基幹病院(県北・沿岸部)	78.0%	70.8%																												
・ 地域病院	75.0%	65.2%																												
・ 精神科病院	78.0%	78.0%																												
○ 紹介率(基幹病院)	49.0%	51.4%	達成																											
○ 逆紹介率(基幹病院)	38.0%	57.4%																												

重点取組項目	主な取組内容 (H26年度)											
(2) 収支均衡に向けた取組												
5-(2)-②-ア 費用の効率的執行 《適正な給与水準の維持》	<ul style="list-style-type: none"> ○55歳超職員(医師60歳超、労務57歳超)昇給停止(4月～)(職員課) ○給料の特別調整額の減額措置継続(4～3月)(職員課) ○超過勤務縮減の取組(職員課) <ul style="list-style-type: none"> ・36協定締結。届出状況調査(5月) ・新任監督者向けの勤務時間の適正管理に関する研修の実施(7月) 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>数値目標</th> <th>目標</th> <th>H26実績</th> <th>H26達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>給与費対医業収益比率</td> <td>60.8%</td> <td>60.7%</td> <td>達成</td> </tr> </tbody> </table>	数値目標	目標	H26実績	H26達成状況	給与費対医業収益比率	60.8%	60.7%	達成		
数値目標	目標	H26実績	H26達成状況									
給与費対医業収益比率	60.8%	60.7%	達成									
5-(2)-②-イ 費用の効率的執行 《投資的経費の効率的な執行》	<ul style="list-style-type: none"> ○医療用設備整備調査委員会の開催(6月)(業務支援課) <ul style="list-style-type: none"> ・リニアック更新に係る設備基準の検討ほか ○臨時医療用設備整備調査委員会(10月)(業務支援課) <ul style="list-style-type: none"> ・部門システムの更新にかかる整備基準の検討ほか 											
5-(2)-②-ウ 費用の効率的執行 《材料費の抑制(薬品)》	<ul style="list-style-type: none"> ○後発医薬品の使用拡大(推奨後発医薬品20品目設定(8月))(業務支援課) ○医療局一括契約の定期的な価格交渉による薬品費の縮減(業務支援課) 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>数値目標</th> <th>目標</th> <th>H26実績</th> <th>H26達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>後発医薬品使用割合(数量)</td> <td>※60.8%</td> <td>68.1%</td> <td>達成</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H26年度の目標値は当初55.3%であったが、国の算出方法変更により、5カ年の目標値を修正。H26年度は60.8%に修正した。</p>	数値目標	目標	H26実績	H26達成状況	後発医薬品使用割合(数量)	※60.8%	68.1%	達成		
数値目標	目標	H26実績	H26達成状況									
後発医薬品使用割合(数量)	※60.8%	68.1%	達成									
5-(2)-②-エ 費用の効率的執行 《材料費の抑制(診療材料費)》	<ul style="list-style-type: none"> ○特定保険医療材料の適正算定(医事企画課) 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>数値目標</th> <th>目標</th> <th>H26実績</th> <th>H26達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>材料費対医業収益比率</td> <td>26.1%</td> <td>25.6%</td> <td>達成</td> </tr> </tbody> </table>	数値目標	目標	H26実績	H26達成状況	材料費対医業収益比率	26.1%	25.6%	達成		
数値目標	目標	H26実績	H26達成状況									
材料費対医業収益比率	26.1%	25.6%	達成									
5-(2)-②-オ 費用の効率的執行 《経費の節減》	<ul style="list-style-type: none"> ○エコマネジメントシステムによる省エネの取組(経営管理課) 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>数値目標</th> <th>目標</th> <th>H26実績</th> <th>H26達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>温室効果ガス(CO2)削減</td> <td>年平均1.0%のエネルギー使用量の削減</td> <td>前年度比△1.78%</td> <td>達成</td> </tr> </tbody> </table>	数値目標	目標	H26実績	H26達成状況	温室効果ガス(CO2)削減	年平均1.0%のエネルギー使用量の削減	前年度比△1.78%	達成		
数値目標	目標	H26実績	H26達成状況									
温室効果ガス(CO2)削減	年平均1.0%のエネルギー使用量の削減	前年度比△1.78%	達成									
5-(2)-②-カ 費用の効率的執行 《業務委託の検討》	<ul style="list-style-type: none"> ○給食業務委託(業務支援課) <ul style="list-style-type: none"> ・大東病院の調理業務委託から給食業務委託に向けた取組支援 ・東和病院、一戸病院の給食業務委託に向けた取組支援 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>数値目標</th> <th>目標</th> <th>H26実績</th> <th>H26達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>調理業務委託のH27年度導入に向けた取組病院数</td> <td>2病院</td> <td>2病院</td> <td>達成</td> </tr> </tbody> </table>	数値目標	目標	H26実績	H26達成状況	調理業務委託のH27年度導入に向けた取組病院数	2病院	2病院	達成		
数値目標	目標	H26実績	H26達成状況									
調理業務委託のH27年度導入に向けた取組病院数	2病院	2病院	達成									
5-(2)-③ 個人未収金の縮減	<ul style="list-style-type: none"> ○病院全体での発生防止・回収の取組(医事企画課) <ul style="list-style-type: none"> ・医事経営課長等会議開催による情報共有(4月) ・個人未収金の発生防止を目的としたポスターの作成(3月) ○医事担当職員のスキル向上(医事企画課) <ul style="list-style-type: none"> ・医事業務指導時の担当者への業務指導実施(14病院実施) ・個人未収金の督促管理システム(債権管理システム)の中央病院への導入(3月) ○回収困難・回収不能債権の処理(医事企画課) <ul style="list-style-type: none"> ・滞納債権集金代行委託業者による回収(72件、2,198,135円 回収率2.6%) 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>数値目標</th> <th>目標</th> <th>H26実績</th> <th>H26達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>過年度個人未収金÷医業収益</td> <td>0.73%</td> <td>0.66%</td> <td>達成</td> </tr> </tbody> </table>	数値目標	目標	H26実績	H26達成状況	過年度個人未収金÷医業収益	0.73%	0.66%	達成		
数値目標	目標	H26実績	H26達成状況									
過年度個人未収金÷医業収益	0.73%	0.66%	達成									

平成 27 年度岩手県立病院等事業運営方針

平成 26 年度から平成 30 年度までを計画期間とする「岩手県立病院等の経営計画《2014-2018》」では、次の 4 つの基本方針を掲げ、県民への良質な医療の持続的な提供のため、様々な取組を進めることとしています。

《基本方針》

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 「心のかよう、患者中心の医療の展開」 | 〈 患 者 本 位 〉 |
| 「職員が働きがいを持つ職場づくり」 | 〈 職 員 重 視 〉 |
| 「健全経営に向けた経営の効率化」 | 〈 不 断 の 改 革 改 善 〉 |
| 「地域と一体となった医療の確保」 | 〈 地 域 と の 協 働 〉 |

平成 26 年度においては、「岩手県立病院等の経営計画《2014-2018》」の初年度として、計画に掲げる 5 つの基本方向ごとの重点取組事項を着実に実行し、県立病院が県民に信頼され、良質な医療を持続的に提供できるよう、取り組んできました。

平成 27 年度においては、引き続き沿岸被災 3 病院再建の着実な推進や、医師確保対策、職員の計画的な増員と人材育成など経営計画に基づく取組を継続していくとともに、地域医療構想の策定など、新たな経営環境の変化にも対応できるよう、全職員が一丸となって取組を進めてまいります。

■■ 平成 27 年度に最重点として取り組む事項 ■■

1 県立病院間・他の医療機関を含めた役割分担と地域連携の推進

- ・ 職員の効率的な配置等による圏域内の一体的な運営の推進
- ・ 地域医療構想も見据えた病床の機能分化・連携、在宅医療や介護との連携推進等の医療提供体制の改革への対応
- ・ 新たな公立病院改革ガイドラインや地域の医療ニーズを踏まえた病床規模適正化の推進
- ・ 地域医療福祉連携体制の強化

2 良質な医療を提供できる環境の整備

- ・ リハビリテーション提供体制の強化、病棟薬剤業務の計画的な導入
- ・ 沿岸被災 3 病院再建の着実な推進
- ・ 電子カルテシステムの計画的導入や圏域内の診療情報の共有など、医療情報システムの整備

3 医師不足の解消と医師の負担軽減に向けた取組の推進

- ・ 奨学金養成医師の効果的な配置
- ・ 後期研修医（レジデント）の受け入れ体制の充実と積極的な情報発信
- ・ 医療クランクの体制強化や質的向上に向けた取組

4 職員の資質向上と人員の重点配置

- ・ 各職域のキャリアデザインや人材育成方針による資格取得の支援
- ・ 被災病院の再建や医療の質の向上に向けた計画的な増員や体制整備等
- ・ 看護職員等の確保及び適正配置に向けた取組の推進

5 安定した経営基盤の確立

- ・ 医事業務委託の整理や事務局の業務見直しによる病院の経営企画機能の強化
- ・ 上位の施設基準の取得や次期診療報酬改定への的確な対応等、継続した収益確保策の実施
- ・ SPD データを活用した材料費の抑制、給食業務委託の拡大等による費用の効率的な執行

《平成 27 年度重点取組事項》

1 県立病院間・他の医療機関を含めた役割分担と地域連携の推進

(1) 県立病院群の一体的・効率的な運営

① 一体的な運営に向けた取組の強化

- 職員の効率的な配置等による地域病院への支援体制の構築など、圏域内の一体的な運営の推進
- 基幹病院への医師の重点配置と地域病院への支援に向けた取組

② 圏域を越えた連携強化

- 地域のニーズに合わせた医師の派遣調整
- 沿岸病院支援体制の構築

③ 基幹病院・本庁に集約した業務の運用方法の改善

- 業務集約化に係る課題解決に向けた取組の推進
- 病院給与事務担当者のスキルアップ支援、給与事務の改善

(2) 地域の状況や各病院の特色等に基づいた各病院が担うべき役割と機能

① 病院ごとの役割・機能の見直し

- 地域医療構想も見据えた病床の機能分化・連携、在宅医療や介護との連携推進等の医療提供体制の改革への対応

② 病床規模の適正化

- 新たな公立病院改革ガイドラインや地域の医療ニーズを踏まえた病床規模適正化の推進

(3) 他の医療機関・介護施設等との役割分担と連携

① 介護・福祉との連携強化

- 退院調整に携わる看護師及び医療社会事業士の計画的な増員等による地域医療福祉連携体制の強化
- 地域包括ケアシステム構築への参画

② 民間移管の円滑な実施

- 沼宮内地域診療センターに係る岩手町が行う民間移管に向けた取組の支援

③ 病院等施設の空きスペースの活用

- 空きスペースの活用に係る地元自治体との協議、現在活用している施設の状況把握

(4) 地域との協働による病院運営

① 広報活動等による県民理解の醸成

- 市町村の広報事業等を通じた情報提供
- ホームページ及び広報メディアの効果的活用

【経営計画に掲げる目標】

- ・ 大きな病院と診療所の役割分担認知度：55.0%
- ・ 救急患者数総数のうち当日帰宅措置患者の割合：77.2%

② 運営協議会等の開催

- 県立病院運営協議会の開催（各圏域）
- 地域懇談会の開催（各病院等）

③ ボランティアとの協働

- 病院ボランティアの受入推進

2 良質な医療を提供できる環境の整備

(1) 患者中心の安全・安心な医療の提供

① 医療の質の確保

ア 病院機能評価受審の推進

- 病院機能評価の受審（予定：大船渡病院・釜石病院・中部病院）

【経営計画に掲げる目標】

- ・病院機能評価認定病院数・職員による病院機能評価実施病院数：17 病院

イ クリニカルパス作成の推進

- クリニカルパス推進委員会開催によるパス推進に向けた取組施策の検討
- クリニカルパス研修会の開催

【経営計画に掲げる目標】

- ・クリニカルパス適用率：59.0%

ウ リハビリテーション提供体制の強化

- 365日体制導入に向けた業務指導や交流研修の実施
- 土日、祝日リハ実施病院の拡充

エ 病棟薬剤業務の計画的な導入

- 基幹病院を中心とした実施病院の拡大（胆沢病院・磐井病院・二戸病院）

【経営計画に掲げる目標】

- ・病棟薬剤業務実施病院数：11 病院

オ 診療録管理体制の強化

- 診療情報管理業務の質的向上などに向けた取組
- 診療録管理体制加算Ⅰ、Ⅱの取得（加算1：中央病院、加算2：軽米病院・大東病院）
- がん登録推進法への対応

【H27 年度の取組目標】

- ・診療録体制加算Ⅰ、Ⅱの取得：3 病院（うち新規取得：2 病院）

② 医療安全対策・感染対策の推進

ア 医療安全対策の推進

- 医療安全管理専門員と医療安全担当者との合同会議の開催
- 医療安全管理専門員による圏域内活動の強化
- 院内パトロール実施のためのガイドライン作成
- 医療法改正による医療安全対策の見直し

イ 医療メディエーターの活用推進

- 業務指針の作成
- フォローアップ研修会の開催
- 医療メディエーターの養成研修会の開催

ウ 医療機器の安全確保

- 臨床工学技士の増員や業務検討委員会による医療機器の統一に向けた取組などによ

る医療機器の安全確保

- 臨床工学技士の業務指導、病院間の業務交流等の実施

エ 感染対策の推進

- 県立病院間の支援体制の構築・実施
- 感染対策ガイドラインの追加・見直し

③ 患者満足度の向上

- 患者満足度調査の実施及び結果の共有と改善の働きかけ
- 研修の実施による接遇の向上

【H27年度の取組目標】

- ・ 基本的な接し方
不満・やや不満患者の割合 5.7%以下・満足・やや満足患者の割合：56%以上
- ・ インフォームド・コンセント
不満・やや不満患者の割合 6.1%以下・満足・やや満足患者の割合：53%以上

(2) 病院の施設・設備の整備

① 被災した病院の再建

- 大槌病院（平成 28 年度開院）の建築工事等を実施
- 山田病院（平成 28 年度開院）の建築工事等を実施
- 高田病院（平成 29 年度開院）の工事設計業務を実施

② 病院附帯設備の計画的な改修

- 大規模改修の計画的な推進
- 建物一般整備の計画的・効果的な整備

③ 高度医療機器の効率的な整備

- 医療用設備整備調査委員会による必要性・有用性等の審査
- 遊休資産の有効活用（共有ファイルの活用等）

(3) 医療情報システムの整備

① 電子カルテシステムの計画的導入

- 電子カルテ導入（宮古病院）、更新（中部病院・二戸病院）
- オータ機能追加（高田病院・大槌病院・山田病院・軽米病院）
- 電子カルテ標準化の検討

【経営計画に掲げる目標】

- ・ 電子カルテ稼働病院数：11 病院

② 診療情報共有システムの整備

- 岩手県医療情報ネットワークシステムの整備
- 二次保健医療圏連携システムの導入検討への参画
- 県立病院のデータバックアップ及び共有項目の充実

3 医師不足の解消と医師の負担軽減に向けた取組の推進

(1) 医師確保に向けた取組

① 医師の絶対数の確保

- 関係大学に対する継続した派遣要請
- 医師の任期付職員採用制度によるシニアドクターの採用推進
- 即戦力医師の招聘活動の推進及び医師の定着支援に向けた意見交換等のフォローアップの実施
- 本県出身学生に対する県人会等での働きかけ
- 奨学金養成医師の効果的な配置

【経営計画に掲げる目標】

・新規招聘医師数：10人

【H27年度の取組目標】

・年度末における医師増員数：25人（初期研修医含む）

② 地域別・診療科別の偏在の緩和

- 基幹病院等による地域病院への支援体制の検討と調整
- 基幹病院を中心とした病院総合医の育成推進
- 圏域内における診療応援及び圏域を越えた連携

③ 初期研修医及び後期研修医の受入れ拡大

- 臨床研修体制の充実・強化
- 臨床研修医のスキルアップ等
- 指導医のスキルアップ等
- 医学生に対するアピールの強化等
- 臨床研修に係る病院事務担当者の体制強化等
- 後期研修医（レジデント）の受け入れ体制の充実と積極的な情報発信

【経営計画に掲げる目標】

・初期研修医1年次受入数：67人

(2) 魅力ある勤務環境への改善

① 医師の業務負担の軽減

- 各職域のキャリアデザインや人材育成方針に対応した認定専門資格取得の支援
- 医療クラークの体制強化や質的向上に向けた取組

② 女性医師の支援

- 24時間保育・病後児保育・学童保育の実施
- 女性勤務医師からの意見聴取及び支援策の実施
- 在宅女性医師への復職支援

③ 医師の処遇改善

- 医師の勤務環境及び生活環境の向上
- 医師の処遇改善に向けた取組の推進
- 勤務医との意見交換の実施

4 職員の資質向上と人員の重点配置

(1) 人づくり

① 計画的な人材育成

ア 薬事部門

- 認定薬剤師の育成

イ 診療放射線部門

- 圏域での業務支援体制、配置基準の構築
- 放射線治療精度管理専門職の育成と業務支援

ウ 臨床検査部門

- 内部・外部精度管理の充実による臨床検査精度の向上
- 認定技師等キャリア開発ガイドラインによる人材育成

エ 看護部門

- 認定看護師の育成

オ 栄養部門

- 新人教育担当者への支援
- 新採用者実務研修会の実施

カ 視能訓練部門

- 部門業務運営方針の運用

キ 臨床工学部門

- 部門業務運営方針の運用
- 業務交流研修、新採用者研修会の実施
- 自主研修会、実務者研修会の実施

ク 医療社会事業部門

- 部門業務運営方針の運用

ケ リハビリテーション部門

- 新採用者研修会の実施
- 管理者育成研修会の実施
- 部門交流研修会の実施

コ 臨床心理部門

- 新採用者研修会の実施
- 部門業務運営方針の策定

サ 事務部門

- 事務職員人材育成プランの実施
- 医事業務指導、研修会等による能力の向上・育成

シ 職種・部門のリーダーとなる人材の育成

- 監督者研修、経営幹部職員研修の実施と研修内容の見直し

【経営計画に掲げる目標】

- ・ 認定看護師数：84人
- ・ 専門・認定薬剤師数：35人

② 人事考課制度の推進

- 人事考課者研修会の実施と研修内容の見直し

③ 職員研修の充実

- 平成27年度研修計画による各種研修の実施

【経営計画に掲げる目標】

- ・研修受講後の自己チェック（肯定回答率）
意識変化：90%以上、行動変化：90%以上

(2) 働きやすい職場環境

① 職員満足度の向上

- 職員満足度調査の実施及び結果の共有

【経営計画に掲げる目標】

- ・職員満足度調査における満足度：79.5%

② 選択可能な多様な勤務形態

- 正規看護職員の夜勤専従の実施

③ 仕事と生活の調和

- 産前産後休暇・育児休業等取得者に対する適切な補充
- 超過勤務縮減の取組

④ 職員の健康サポート

- 職員定期健康診断、各種検診及び予防接種の実施
- メンタルヘルスケアの取組
- 「心の病気による職員を抱える管理・監督者のための支援マニュアル」の活用及び職場復帰支援の強化
- 職員喫煙状況調査の継続実施と禁煙支援に係る取組

(3) 職員の適正配置

① 再建する被災病院の体制確保

- 再建に向けた計画的な職員の増員等

② 地域医療福祉連携体制の構築

- 退院調整に携わる看護師及び医療社会事業士の計画的な増員等による地域医療福祉連携体制の強化

③ リハビリテーション等医療技術部門の充実

- 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の増員によるリハビリテーション提供体制の充実
- 病棟薬剤業務の拡充に向けた薬剤師の確保
- 臨床工学技士等の増員による体制強化

④ 看護職員の確保

- 看護職員確保対策検討委員会の提言を踏まえた確保方策の推進
- 就職説明会への積極的な参加、ホームページの活用などによる県立病院の魅力等の情報発信

5 安定した経営基盤の確立

(1) 事業運営体制の整備

① 経営企画機能の強化

- 医事業務委託の整理や事務局の業務見直しによる病院の経営企画機能の強化

- SPD データを活用した情報提供

② 病院経営マネジメントの推進

- 経営計画ロードマップの必要に応じた見直し、平成 26 年度重点取組事項の評価等、経営計画の着実な実行に向けた進行管理
- 病院経営マネジメントに関する研修の実施
- 新たな公立病院改革ガイドラインへの的確な対応

③ 病院毎の経営目標の設定と進捗管理

- 平成 27 年度当初予算に基づいた各病院の経営目標及び収支計画の設定
- 本庁と基幹病院との情報交換会の実施、進捗管理

(2) 収支均衡に向けた取組

① 収益の確保

- 急性期病院を中心とした紹介・逆紹介の推進等による、新入院患者の確保及び診療単価の増
- 地域医療支援病院の平成 28 年度承認に向けた取組（宮古病院）
- 次期診療報酬改定に向けた情報収集及び情報共有の推進
- 全国 DPC 病院のベンチマーク分析、DPC データ分析に向けたシステム導入及び DPC 分析されたクリニカルパスの活用推進の支援
- 指導料等の算定強化、SPD による特定保険医療材料の突合資料の提供など収益確保の取組
- 請求精度の向上による査定減防止への取組及び再審査請求の促進

【経営計画に掲げる目標】

- ・ 病床利用率
センター病院及び基幹病院（内陸南部）85.0%、基幹病院（県北・沿岸部）78.0%
地域病院 75.0%
精神科病院 78.0%
- ・ 紹介率（基幹病院）：50.0%
- ・ 逆紹介率（基幹病院）：39.0%

- 未利用資産の状況調査及び売却等の推進
- 診療部門と協力した特別室の利用促進と算定率向上

② 費用の効率的執行

ア 適正な給与水準の維持

- 超過勤務縮減の取組

【経営計画に掲げる目標】

- ・ 給与費対医業収益比率：61.4%

イ 投資的経費の効率的な執行

- 大規模改修の計画的な推進
- 建物一般整備の計画的・効果的な整備
- 医療用設備整備調査委員会による必要性・有用性等の精査

ウ 材料費の抑制

- 推奨後発医薬品の品目追加、バイオシミラー導入推進等による後発医薬品の使用拡大

- 医療局一括契約の定期的な価格交渉による薬品費の縮減
- SPDデータを活用した同種同効品の整理統一及び廉価購入
- 材料購入価格のベンチマーク

【経営計画に掲げる目標】

- ・材料費対医業収益比率 26.1%
- ・後発医薬品数量割合：70.3%

【H27年度の取組目標】

- ・診療材料費対入院・外来収益比率 10.1%

(参考) 後発医薬品数量割合				
	H27	H28	H29	H30
目標値	70.3%	72.0%	73.5%	74.5%

エ 経費の節減

- エコマネジメントシステムに基づく取組

【H27年度の取組目標】

- ・温室効果ガス（CO2）使用量削減：△1.1%（エネルギー使用量削減）

オ 業務委託の検討

- 給食業務委託の導入（平成28年度：千厩病院・大槌病院・山田病院）、調理業務委託から給食業務委託への移行（平成28年度：高田病院・軽米病院）
- 給食業務委託導入後の運用状況検証（一戸病院・東和病院）

【経営計画に掲げる目標】

- ・調理業務委託を導入している病院数：5病院

【H27年度の取組目標】

- ・給食業務委託の平成28年度導入に向けた取組病院数5病院（うち2病院は調理業務からの移行）

③ 個人未収金の縮減

- 病院全体での発生防止、回収の取組
- 医事担当職員のスキル向上
- 支払いやすい環境の整備
- 未収金管理体制の強化
- 滞納債権回収業務委託や法的措置への取組による回収強化

【：経営計画に掲げる目標】

- ・過年度個人未収金／医業収益：0.73